

◆国土交通省北陸地方整備局の無電柱化への取り組み！

国土交通省北陸地方整備局は『美しく、安全な街を目指して』のスローガンのもとで電線類地中化に積極的に取り組んでいます。今回、その施策の一端をご紹介します。

1. 北陸ブロックにおける整備目標

- ・市街地の幹線道路の無電柱化率：6%(平成15年度末)→9%(平成20年度)
- ・まちの顔となる道路の無電柱化率：55%(平成15年度末)→67%(平成20年度末)

2. 身近な道路の無電柱化に向けて、面的整備に着手

生活道路の通過交通をなくし、安全で快適な生活空間をつくる「くらしのみちゾーン」をはじめ、重要伝統的建造物群保存地区や歴史的風土保存区域、さらに土地区画整理や市街地再開発地区などで、主要な非幹線道路も含め面的整備を実施。



高岡市山町筋のまちなみ

3. 関連事業との同時施工によるコスト圧縮

無電柱化のコストを抑え、効率よく進めるために、都市のバイパス事業、拡幅事業、街路事業、土地区画整理事業市街地再開発事業、バリアフリー化事業と原則同時施工にします。

4. 浅層埋設方式の採用によるコスト圧縮

浅層埋設式の積極的な導入により、コストを抑え、効率よく整備推進を図ります。この方式は、従来の地中化と比較し、1km当たり6.8億円かかっていたコストが5.6億円と、約2割のコスト削減が可能になります。さらに、これまで施工が困難だった幅員2.5m以下の道路でも埋設できます。



5. 軒下配線・裏配線の採用によるコスト圧縮

狭い道路などでの無電柱化を実現するため、各家々の軒下に直接電線を這わす軒下配線や、表通りから見えないように配線する裏配線を導入します。



6. 柱状型機器の採用による歩行空間の確保

歩道のない道路や狭い道路の無電柱化を進める場合、トランスを道路上に置くと歩行空間が確保できない問題が生じます。しかし、照明と一体化された柱状型トランスなら、道路上を占有しないで快適な歩行空間づくりが可能。この技術開発に着手します。

「私達」が住む日本の空を、「私達」が美しい空へ変えましょう！

美空～MISORA～

第21号

発行日：2010年3月15日(月)

発行者：NPO 法人電線のない街づくり支援ネットワーク

理事長 高田 昇

【特集】ありそうでなかった！？

電柱撤去予告シールとは！

～石川県野々市町での画期的な取り組み～

今月号は石川県野々市町での画期的でユニークな取り組みを紹介します！

無電柱化を積極的に進めている石川県は無電柱化により撤去される予定の電柱に撤去期限を示したシールを貼り、通行者にお知らせするとともに、工事への協力と無電柱化の推進への理解を求めました。

シールは青空を思い起こさせるデザインとなっていて、「この電柱は平成22年3月までになくなります。」と撤去予告が書かれています。

国道157号線、野々市町押野町～横宮町区間約500mは今年3月までに無電柱化工事が終了する見通しで、撤去する30本の電柱に職員がシールを貼っています。

今回は、国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所交通対策課の奥村様に無電柱化工事の目的、電柱撤去シールのアイデアなどをお伺いしました。

写真を織り交ぜて石川県の事例をお届けします！



こちらが「電柱撤去予告シール」です！撤去予定の電柱にくまなく貼られています。

国道 157 号線無電柱化計画！

完了を目前に突撃インタビュー！

[奥村様へのインタビュー]

Q. 今回の無電柱化工事はどの方式を採用したのでしょうか？

A. 今回は電線共同溝方式を採用し、工事してきました。

Q. 国道 157 号の野々市町押野町、横宮町間で無電柱化工事が完了するとお聞きしましたが、本箇所での無電柱化はどのような目的なのでしょうか？

A. 「安全で快適な歩行空間の確保」、「都市景観及び都市防災性の向上」を図るために整備を行っています。さらに、当該電線共同溝の整備により、道路の掘返し防止、高度情報化社会の更なる発展にも資するものと考えています。

Q. 今回の工事に関わった(電力会社や施工業者など)企業は約何社ほどなのでしょうか？

A. 平成 21 年度、野々市町堀内地区、金沢市横川地区等で4件の工事を実施しました。

電線管理者は各地区で4社と共同して行い、それぞれに協力をいただきました。



シールを貼りつけている作業員さんの写真です。
他の撤去予定の電柱にもこうしてシールを貼り付けていらっしゃるのですね！

画像提供：
国土交通省北陸地方整備局殿

当NPOでは、メールマガジンも配信させていただいております。
電線地中化に関するコラム・情報を月2回お楽しみいただけます！
ぜひこちらにもご登録ください！
アドレスはコチラ → <http://www.mag2.com/m/0000266000.html>

Q. 「電柱撤去シール」のアイデアはどのようにして生まれたのでしょうか？

A. 「撤去予定シール」は、撤去の期限を事前にお知らせすることにより、残る作業への更なるご協力と、無電柱化の推進にご理解を頂くことを目的にしており、平成 20 年度から実施しています。

奥村様ありがとうございました！



Before
H21 年 4 月



After
H20 年 10 月

[編集員の感想]

過去の配信より年月がたった石川県では予想以上に無電柱化の動きが活発でした。独自の取り組みや、共同して工事を行った企業との連携があるからこそこんなに活発になっていくのですね！

国が積極的に無電柱化を推進しているとなれば私たちもその勢いに乗らない手はありません！

そしてゆくゆくは47都道府県全てで無電柱化工事が行われ、いずれ無電柱国、日本を完成させるお手伝いをしていきましょう！

当NPOのHP(ホームページ)でも、最新情報を詳しく載せていきますので、ぜひこちらへもアクセスしてください！
<http://nponpc.org/top.aspx>

